ウスグロゴケ科

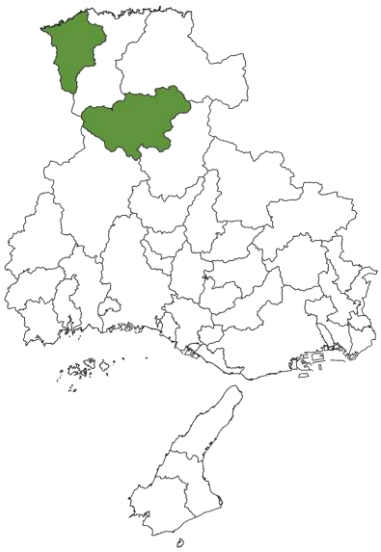
ネジレイトゴケ

Pterygynandrum filiforme Hedw.

兵庫県ランク… B
環境省ランク… －

■ 県内分布

養父市、新温泉町



■ 国内分布

北海道、本州、九州

■ 選定理由

人為性		特殊性		学術性	
生育環境破壊		特殊生育環境		特殊な分布	
観賞用等採取		特異な生態		分布の限界	
				希少	○

■ 特記事項

新温泉町では、ツヤヒツジゴケ（*Brachythecium pulcellum* Broth. & Par.）と混生して生育していた。

■ 保護上の留意点

－

■ 種の概要

植物体は小型で薄い群落をつくる。茎ははい、不規則に分枝する。枝はふつう斜上し、葉を含めて幅0.2-0.5mm、ときに先端が糸状に伸びる。葉は丸くついてやや光沢があり、乾くと枝に接し縮れない。枝葉は長さ0.5-0.7mm、倒卵形から長卵形で、鈍頭かまれに鋭頭、葉面は凹み、縁に目立たない微鋸歯がある。中肋は短くて2叉するか、1本で葉の中部で終わる。葉身細胞は菱形から長菱形で厚壁、背面の上端および下端に大型のパピラがあるのが良い特徴。葉翼は多少分化して方形から矩形の細胞からなる。雌雄異株。蒴柄は長く、蒴は円筒形で直立し、相称。外蒴歯は線状披針形で上部は平滑、内蒴歯の歯突起は短く、間毛を欠く。胞子は直径10-15μm。山地の樹幹や岩上に群落をつくる。